



18歳で岩手県から上京し、工場勤務、完全歩合制のセールスの経験を積んだ後、2017年に株式会社Historiaを設立した、高橋平吉氏。20代に特化した会員制ビジネススクールを展開。そのほか、東京都新宿区で飲食店「PIZZA & craft beer 夢の橋」も経営している。

Close Up

株式会社Historia

20代に特化したビジネススクールで、起業家を志す若者の夢を応援する。

約千人の受講生に対して、目標設定の重要性を説く。

「起業して、個の力を武器に収入を得ることとは、簡単なことではありません。一方で、やり方次第で大きな成果が得られることを、私は経験を通して学びました。当社のビジネススクールの受講生には会社員の方も多いのですが、強い気持ちさえあれば、会社を辞めて起業することができる、という当たり前のことを実感してもらいたいし、その応援をしたい。」

そう語るのは、22歳で株式会社Historiaを設立した、代表取締役社長・高橋平吉氏。同社の主要事業は、20代に特化したビジネススクールの運営だ。掲げた理念は「ENTREPLACE(アントレプレイス)」。起業家(アントレプレナー)と場所(プレイス)の組み合わせに、「起業家の原点となる場所を提供する」との思いが込められている。

高橋氏は、なぜ起業家を志す若者をターゲットにしたビジネスをスタートさせたのか。そのベースには、彼自身の実体験が色濃く反映されている。高校生のとき、故郷・岩手県で東日本大震災を経験。人はいつどうなるか分からないと身に染みて感じ、工業高校卒業後、18歳で上京した。工場勤務の日々を送るが、将来を思い描く余裕はなかった。その日々を変えたのは、20代の起業家との出会い。19歳だった自分とそれほど歳が離れていない人が、ビジネスで成功し、優雅なライフスタイルを送る姿を目の当たりにした高橋氏は「自分にも絶対できる、覚悟を持ってやりきる」と決

意。20歳からビジネスをスタート。はじめの一年は工場員と兼業でビジネスを行い、21歳という若さで独立。22歳で起業し、夢を実現させた。

現在、スクールの受講生は約千人。その多くは美容、農業、営業代行など、幅広い業種で起業を志しているが、起業家志望の若者だけでなく、同スクールは新しく何かを始めようと試みるすべての人に対して門戸を開いている。高橋氏が目指すのは、若い人たちが希望の持てる社会の実現。そのため、営業やマネジメントといったビジネスに役立つスキルはもちろんだが、何より重要なのは目標設定の重要性を理解することだと高橋氏は考えている。

目標設定は、あらゆるシーンで物事を前に進めるために欠かせない。例えばハワイに行くためには、飛行機に乗る必要がある。そのためには、航空券が必要。航空券を買うためには、何をすべきか……。単純な

ことばかりだが、ゴールから逆算して、プロセスを明確にすることで迷いが消える。高橋氏の講義では、こうした考え方を身に着けることに重きを置いている。

「今やるべきことが整理できれば、モチベーションも生まれる。まず、こうした要件整理を実践しないと、次のステップには進めません。」

飲食店での実務を通して、経営の視点を身につける。

東京本社で運営するビジネススクールを通して、ビジネスの理論や心構えについて講義する一方、同社はリアル店舗の実務を通して経営を学ぶ場を提供する目的で、東京・新宿区で飲食事業を展開している。「PIZZA & craft beer 夢の橋」は、北海道産小麦を使ったピザを名物としている店舗で、スタッフ全員が20代。受講生が飲食業を志して起業したときのスタート地点を、リアルに体験することができ。

「飲食店の経営は、ビジネスモデルとしても簡単ではないと思いますが、受講生には20代でも飲食店を成功させるには何が必要か、を学んでもらいたかったので、この店を立ち上げました」

ピザを主力商品にすることを決めた要因は2つある。周囲に競合店がなかったこと。もう一つが、ピザはテイクアウトできる商品であること。一般的に、飲食店の売上は「客単価×席数」をベースに考えるが、テイクアウトできる商材を扱うことで、席数という枠を取り払う選択肢をもつことができる。そして、経営者の視点をもって実践



「夢の橋」の人気メニュー。キノコ、パンチェッタ、モッツアレラチーズのピザ「YUMENO-HASHI」¥1,600。クラブビールも充実している。

を積み重ねて得た成功体験は、夢を思い描くきっかけを作ることに繋がる。

「ひとつの理想ですが、この飲食店が文字通り、夢の橋」として、人と人とを繋ぐ架け橋になってくれたら嬉しい。集まった人同士が交流を深め、お互いの夢を語り合い、何らかのビジネスが生まれる舞台になったらいいですね。」

高橋氏の元を築立って成功者が生まれ、その後姿を見て、また新たな起業家が生まれる。こうした成功の連鎖を生み出したいと考えているのだ。

「自分には無理だと夢を諦めてほしくない。夢をもっている人はスキルを磨き、知識を蓄え、実現に向けて前進する。その夢を描くための環境をサポートしたい。今の若者が未来に憧れや希望を持てる世の中を創る。それが私の使命。だからこそ私も不可能に思えることに挑戦し、イノベーションを起こし続けます。」

20代での起業を目指す、同じ志をもった仲間たち。

Historiaでは、ビジネスセミナーの受講生だけでなく、運営サイドも20代が中心。約70名の営業スタッフには、元・受講生だった人も多く「能力やスキルが上がってきた方の中から私がお声がけた仲間たちです」と高橋氏の信頼も厚い。受講生間わずHistoriaに関わるすべての人たちは「20代でも成功できることを証明しよう」と、同じ志をもっており、企業と顧客のような関係でもなければ、組織の上下関係のようなものでもない。高橋氏によれば「仲間という感覚に近いかもしれない。仲間の支えがあったり今がある。共に成長し、何かあったり一緒に乗り越えていく。そんな仲間が働きやすい環境作りを常に目指していく」。成長を続ける高橋平吉氏の活躍に今後も目が離せない。

